

2019年10月17日

豊ヶ丘複合施設市民ワークショップ：
首都大学東京 饗庭伸教授様
多摩市施設政策担当 榎本憲志郎部長様

第5回の豊ヶ丘市民ワークショップの改修案に対して
豊ヶ丘図書館友の会から再検討の申し入れ

過日、豊ヶ丘図書館友の会例会で、第5回豊ヶ丘市民ワークショップで提案された豊ヶ丘複合施設の改修案を検討しました。その結果をご報告します。今後の改修案の修正に、考慮されることを希望します。

添付の議事メモの発言要旨、および、まとめにあるように、会員から、様々な発言がありました。蔵書数、職員数などについては、今後、運営に関する議論に委ねるとして、建物の改修についての考慮点として、特に、次の2点を挙げておきます。

1. 児童コーナーを図書館内に残すこと。

東本館長にも、確認しましたが、多摩市図書館の本は、司書の管理下にある図書館内になくなくてはならず、提案のように、児童館の隅に、図書館の本や書架を置くことはできない。現在の児童館の子供の遊び場にある本は、利用者などがもちよったもので、多摩市図書館のものではない。

2. 2階の学習室・読書室を維持すること。

読書ができる空間として、2階がなくなり、1階の南半分はおしゃべりコーナーになるのでは、図書館の機能は果たせなくなる。

以上

豊ヶ丘図書館友の会 会長 大橋慶一

添付： 豊ヶ丘図書館友の会例会 議事メモ